

学校プールについて

1. プール設置のメリット・デメリット比較

	メリット	デメリット
自校設置	① 移動時間がかからない。 ② 全校統一的な対応が取りやすい。 ③ ランニングコストを抑えられる（バス運行料や施設使用料は不要）。	① 天候により中止になることがある。 ② 教員が水質管理や水位調整を行う必要がある。 ③ 屋外のため、天候により寒い、プールの水が冷たい（現在、シャワーの一部は温水。改築で全シャワーの温水化は可能）。 ④ 屋上プールは漏水リスクが若干ある（技術の進歩と適切な保守でリスクは低減可能。23区では改築の際、大半の学校が屋上プールを整備）。 ⑤ イニシャルコストがかかる。
民間施設活用	① 天候に左右されず、計画的に水泳指導を実施できる。 ② 寒さや水の冷たさはない。地球温暖化に伴う紫外線などの影響も抑制できる。 ③ 最小のコストで専門インストラクターの指導を受けることができる。 ④ 教員による施設管理が不要になる。 ⑤ イニシャルコストを縮減できる。	① 移動時間がかかる（バスで移動する場合も、道路幅員の関係で学校や施設の前に駐車できるとは限らない）。 ② 使用時間が限定される（午前9～10時のみ、施設の休業日のみなど）。 ③ 施設側の状況（他団体の使用状況、施設の建替、事業撤退など）により使用できなくなる場合も想定される。 ④ ランニングコストが高い（バス運行料や施設使用料がかかる）。 ⑤ 改築対象外の学校は自校プールを使用することになる。

※今後60年間の費用の試算では、自校設置と民間活用の間に大きな差はなかった。

2. 近隣自治体の事例

【水泳指導外部化を実施している近隣自治体】

- ・葛飾区…令和4年度から改築校のほか、状況の整った区立小学校から屋内温水プールを活用した水泳指導に移行。
- ・多摩市…令和4年2月に市内小学校全17校の水泳指導外部化を発表。令和3年度は小学校3校で実施し、令和4年度からは実施校を4校に拡大。
- ・日野市…令和3年度に小学校4校で民間プール活用を図り、小学校1校、中学校1校での学校プールの共同利用を行った。
- ・清瀬市…令和3年度小学校1校、中学校1校で民間プールを活用した授業を実施。
- ・佐倉市…小学校2校で民間プール活用を実施済み。2校は学校プールを撤去。
- ・北本市…令和元年度に中学校1校をモデル校として民間プール活用を実施。
- ・志木市…令和4年度から市内全8小学校で民間プールを活用した水泳指導を開始。
- ・海老名市…平成23年度までに、市内小中学校のプールを全廃。現在、小学校及び中学校の特別支援学級の水泳授業を市内4カ所の温水プールで、5～10月に行っている。

【水泳指導廃止を実施している近隣自治体】

- ・羽生市…市立中学校全校のプールを廃止。外部委託を検討したが断念。
- ・海老名市…平成 27 年度から中学校の通常学級の授業を中止。（特別支援学級のみ実施）

※上記は教育企画課財務係学校改築担当で調べた事例の一例です。

3. 葛飾区事例紹介

【水泳指導外部化の方針について】

令和 2 年 12 月に「今後の水泳指導の実施方法に関する方針」を策定し、小学校は改築校や学校プールの大規模改修が必要となった学級及び学校外プール活用の意向のある学校から、学校外プールの活用へと移行していき、できるだけ早期にすべての小学校が屋内温水プールでの水泳指導ができるようにしていく考えを示した。

この方針に基づき令和 4 年度から、改築校において学校外プールを活用した水泳指導を始めている。今後、活用が見込める学校外プール施設としては、区民プール、民間のスポーツクラブを合わせて 10 施設程度を活用していく方向で、新しく区立の温水プールの整備についても検討を進めている。

【水泳指導外部化のメリット・デメリット】

(葛飾区「今後の水泳指導の実施方法に関する方針」より)

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">・複数の専門のインストラクターを活用した水泳指導ができる。・子どもの技量に応じたグループ分けによる水泳指導の体制ができる。・天候に左右されない計画的な水泳指導ができる。・1 年の中で計画的に水泳指導ができる。・外部からの視線の遮断や騒音配慮などの対応が不要となる。・学校プールの水質・水流失防止の管理などが不要となる。・改築校のプール設置場所を有効利用することができる。・学校プールの設置費や維持管理費と比較して経費がかからない。	<ul style="list-style-type: none">・移動時間がかかる。・移動時の安全確保が必要となる。・災害時などの水利の調整が必要となる。・夏季休業中の水泳指導が難しくなる。・施設開放での利用ができなくなる。

学校プールアンケート結果

(1)アンケート実施の目的

令和4年度、井之頭小学校改築基本計画を策定するにあたり、プール設置の要否等の検討のために、井之頭小学校の児童(3年生以上)、保護者(全学年)、教職員を対象にアンケートを実施しました。

(2)アンケート方法

対象:3年生以上の児童、全学年の児童の保護者、教職員

期間:令和4年9月5日(月)～令和4年9月9日(金)

方法:Google アンケートフォーム

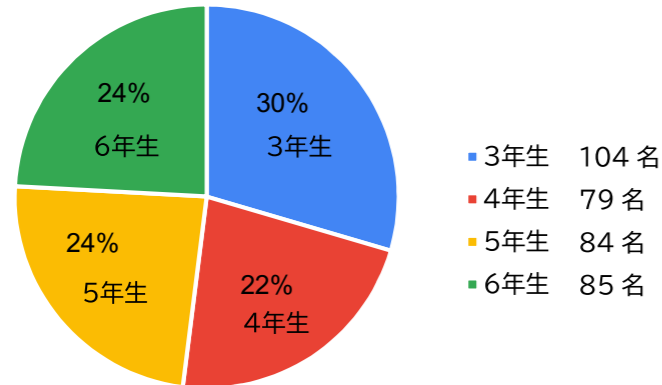
(3)集計結果

【児童】

回答者数:352名/387名

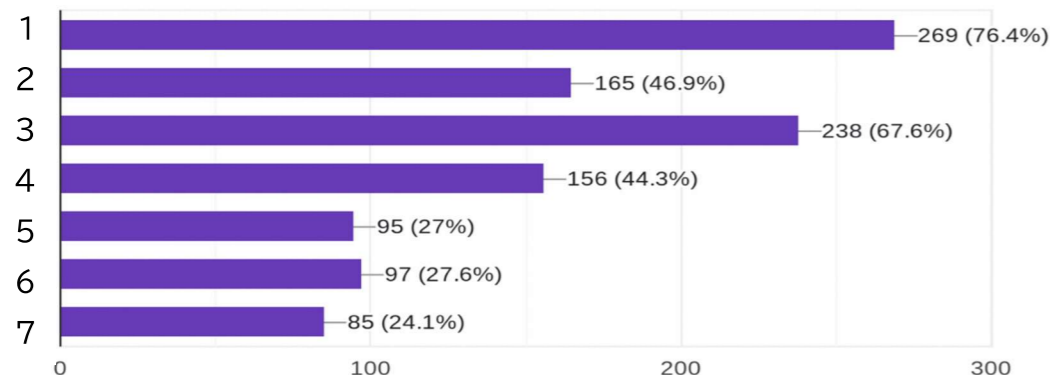
回答率:91%

Q1 あなたの学年を教えてください。



Q2 学校のプールについて、感じていることを選んでください。(〇いくつでも)

- 水泳の授業は楽しい
- もっとうまく泳げるようになりたい
- 天気(雨や気温)によって水泳の授業が急に中止になるのは残念
- 温水プールで授業ができるのであれば、スイミングスクールなどの外のプールに行くのもよい
※学校の外の温水プールに行く場合は、徒歩またはバスで移動します
- 水泳の授業は、自分の学校のプールでやりたい
- 水泳の授業は、スイミングスクールの先生に教えてもらうのもよい
- 水泳の授業は、自分の学校の先生に教えてほしい



Q3 Q2のほかに学校のプールについて、特に感じていることがあれば書いてください。(抜粋)

- ・プールの水は冷たいのでぬるくしてほしい。
- ・シャワーが冷たすぎだと思います。
- ・プールの底に所々、滑るようなところがあって、危ないと感じます。
- ・水泳の授業は好きだから雨で中止になるのが残念。
- ・虫などが浮かんでいたり水が汚いときがあるのが嫌です。
- ・レベルを上げてほしい。ちょっと内容が簡単でもっと泳ぎたい。
- ・プールなのに、気温が高すぎて中止になるのは嫌だし、おかしいと思うから、気温が高くてでもできる場所でプールができたほうがいいと思う。
- ・スイミングスクールに行けないのであればプールに屋根がほしい。
- ・凄く楽しいので、3～4回ではなくて、たくさんプールの学習ができれば良いと思いました。
- ・室内プールがいい。冬でもプールをしたい。
- ・プールの更衣室が狭いと思う。
- ・上の学年とかになってくるとプールが浅くて泳ぎにくかったりします。
- ・プール自体やりたくない。
- ・学校の授業なので学校でやったほうがいいと思います。また、温水プールに行くためにプールの授業が削られるのもどうかと思います。バスが苦手な人もいます。

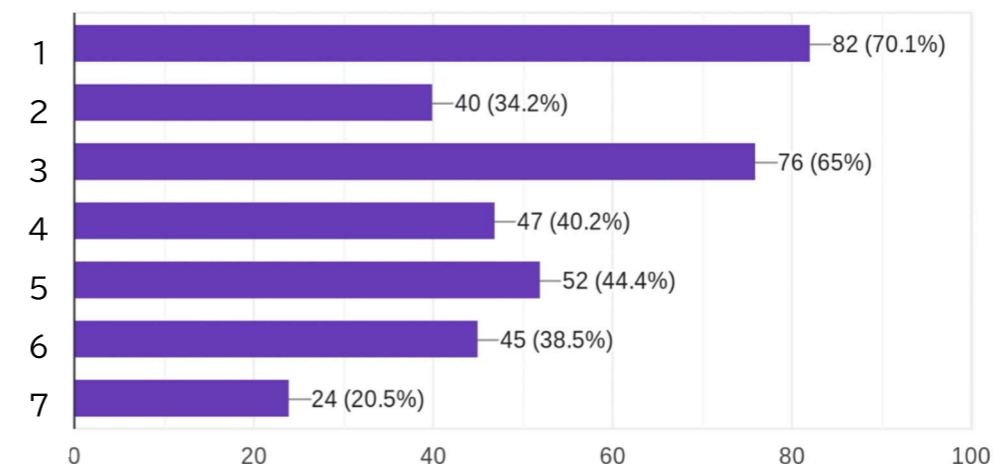
【保護者】

回答者数:117名/605名

回答率:19%

Q 学校のプールについて、あなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

- 子どもは学校の水泳の授業を楽しみにしている
- 水泳の授業で、泳ぎがうまくなってほしい
- 天気(雨や気温)によって水泳の授業が急に中止になるのは残念
- 教員が毎日行っているプールの水質管理作業は負担になっていると思う
- 温水プールで授業ができるのであれば、スイミングスクールなどの外のプールに行くのもよい
※学校の外の温水プールに行く場合は、徒歩またはバスで移動します
- プールは、学校の敷地内(屋外)にあるほうがよい
- 水泳の授業は、より専門性の高い指導を期待する



Q このほか、学校のプール、水泳の授業について、感じていることがあればご記入ください(抜粋)

- ・屋外であれば、日除けのタープや、せめてプールサイドでは屋根のあるところが有ると良いと思います。
- ・日差しが強く皮膚ガンが心配。ラッシュガードを着ても日焼けは避けられない部分がある。特に屋上プールはやめてほしい。
- ・数回しか着ないのに指定の水着を毎年購入(サイズアウトの関係もあるため)し、名札をつけなければならないことが負担。
- ・9月なども、もう少し回数を増やしてほしい。コロナの影響で回数が減り、泳げない子が多い。
- ・プールの水が冷たい、シャワーも地獄のように冷たい
- ・泳ぎよりも着衣水泳など水の怖さや事故を学んでほしいです。
- ・寒すぎる日にプールに入るのが子供にとって苦痛になっている
- ・決して広くない敷地内で年に数回のためにプールを確保するよりも、その場所を通年利用できるように有効活用してほしい。
- ・水泳を習っている児童と習っていない児童で泳力差が大きいので、一斉指導ではなく、習熟度別で2チームか3チームにわけ、水遊びや12m程度で終わらせずに(指導というより泳げる児童たちが練習として)泳がせてほしい。
- ・見学の児童が外で見学をするのであれば、熱中症にならない対策がとれるように改善してほしい。現状では足をバケツにつけるだけなので、児童たちは暑いし、数分おきにバケツの水を入れ換えるので教員や指導員の手間や負担になっている様子。見学者が室内待機であるなら必要ない。
- ・虫が浮いていたり、鳥が浸かっていたプールに入ることに抵抗があるようです。
- ・屋内温水プールで一年中授業があるといい。
- ・夏休みの午後に、プールを開放して欲しい。
- ・できないならプール授業はなくてもよいと思う(中止の時に子供が落胆するため)。
- ・外部を利用するなら通年でやるのもありだと思います。
- ・担任がお休みでも天気が良ければ中止にしないでほしい。
- ・先生方の負担軽減が全体として質の高い教育に繋がると考えるため、その視点を重視したプール授業であれば良いと思う。
- ・もし学校にプールが作られるならば、着替えの際に子供たちが嫌な気持ちにならない更衣室の工夫があれば良いと思う。
- ・敷地内にあるに越したことはないが、最近プールの授業数が減り夏休みの開放もないので、各校で保持するのはあまりにもコスト高なため、廃止もやむなしと考えます。
- ・校外のプールにまで行く必要はないと思うし、移動の時間の無駄や道中の安全性の確保の方が懸念。作るのであれば校内が良いが、無くなっても致し方ないとも思う。
- ・プール授業は楽しくできればいいです。
- ・水泳を外部で習っていないため、泳げません。しかし授業では泳げるようになりません。泳ぎを教えていただけないなら授業をやる意味はない。授業をやるなら、最低限でいいので泳げるように指導してほしい。そのために外部のプールや指導員が必要なら、その方が良い。
- ・先生方の負担を軽減させるためにも外注で講師の先生に委託するべきだと思います。

【教職員】
回答者数:24名/50名
回答率:48%

Q 学校のプールについて、あなたの考えに近いものを選んでください。(〇ひとつだけ)

- 1 プールは学校の中にある方がよい
- 2 外部(スイミングスクールなど)の温水プールを活用して授業を実施した方がよい
メリット:天候に左右されず授業を実施できる、専門のインストラクターの協力を得て指導ができる、教員によるプールの管理作業が不要となる。
デメリット:徒歩またはバスによる移動が必要。授業の実施時期、時間、場所は限定される(学校の希望どおりにはならない)。
※授業は学年単位、1回50分程度で年5回を想定しています。
※学校外の温水プールを活用して授業を行う場合は学校内にプールはつくりません。
※必要となるコストは、60年間で試算すると選択肢1と2で大きくは変わりません。
- 3 どちらでもよい

選択肢	人数	割合
1 プールは学校の中にある方がよい	15名	62%
2 外部(スイミングスクールなど)の温水プールを活用して授業を実施した方がよい	6名	25%
3 どちらでもよい	3名	13%

Q 上記を選んだ理由をご記入ください。(抜粋)

- 【1 プールは学校の中にある方がよいを選んだ理由】
- ・環境の変化が苦手な児童もいるので。
 - ・学年での水泳指導を希望のため
 - ・外部との調整や移動が大変。千代田区の学校では学校内に温水プールがあり、外部に貸出をしている所もある。両立させられないか考えてもよいのではないか。
 - ・教科担任制等の導入による時間割のことを考慮すると、融通がきかないのが厳しいと思うから。
 - ・かつて外部のプール施設を使用させてもらったことがあるが、移動の安全面の配慮は教員にはかなりの負担であること、また、場所にもよるが行き帰りの時間ロスがどうしても出てくるので、実際の水泳指導の時間が減ってしまう点にある。また、外部施設だと、日程などなかなか融通がきかず、調整の担当者にとって、かなりの負担が出てくる。ましてや児童数が増えている中で、かなり大変かと思われる。校内にプールがある中で、なおかつ外部講師を呼ぶなどして、管理や指導面で教員のサポートや負担を減らすことを考えていただけるとありがたいと思う。そして、できるなら、校内に温水プールがあれば、天候に左右されないのが、なおよいと考える。
 - ・なにか起こったときに学校内のほうが、教員の対応を迅速にすることができる。
- 【2 外部の温水プールを活用して授業を実施した方がよいを選んだ理由】
- ・プール設置場所に、他の施設(校庭や教室)を増設した方が、教育的効果が高いから。
 - ・天候に左右されやすく、中止もあったから。管理が大変だから。